

小・中学校の適正配置に関する 市民説明会

～ みんなで考える秋田市の未来 ～

2017年7月

秋田市教育委員会

市民説明会の内容

- 1 人口減少の実際（現状分析）
- 2 これまでの秋田市の取り組み
- 3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言
- 4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討
- 5 児童生徒数と学級数の推計
- 6 今後のスケジュール

1 人口減少の実際（現状分析）

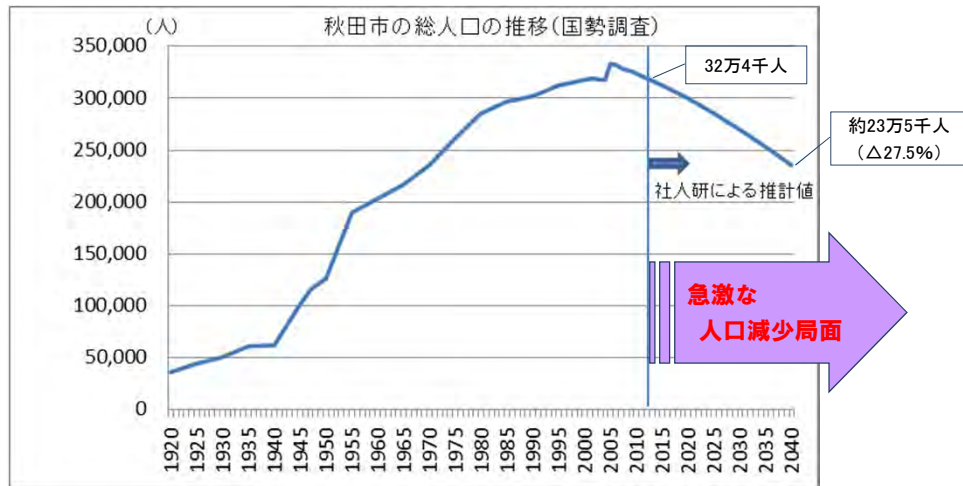
秋田市の人口の推計①

秋田市の人口は2003年に減少に転じた。

その後も減少が続き、2040年には23万5千人になると推計される。

人口減少の要因

- ・死亡数>出生数、自然減
- ・高校、大学の卒業に伴う転出、社会減



※「社人研」とは、国立社会保障・人口問題研究所の略称。

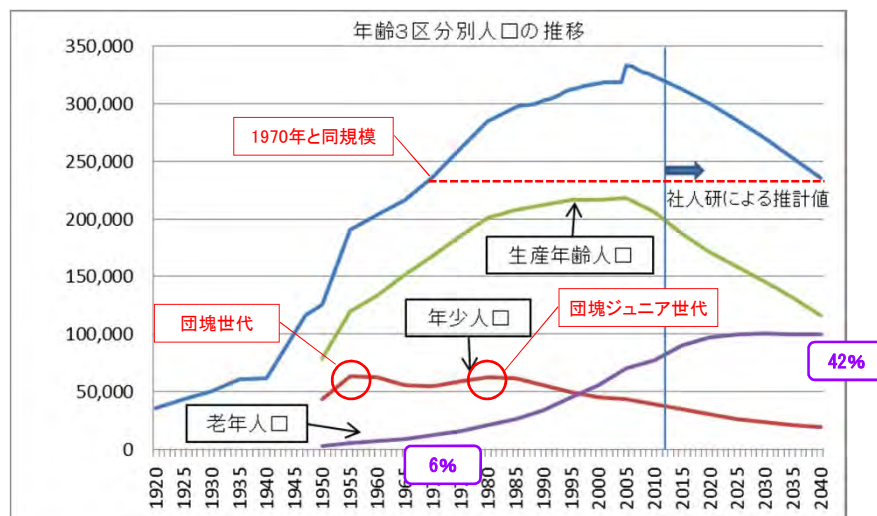
(出典) 秋田市人口ビジョン

3

1 人口減少の実際（現状分析）

秋田市の人口の推計②

年少人口（15歳未満）は長期的に減少が続き、1990年代後半には老年人口を下回った。



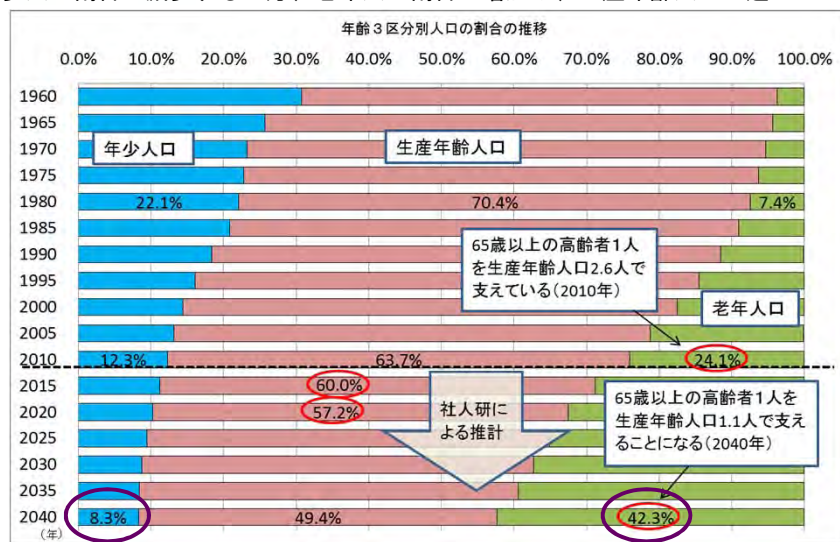
(出典) 秋田市人口ビジョン

4

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の人口の推計③

年少人口割合が減少する一方、老年人口割合が増加し、生産年齢人口に近づいていく。

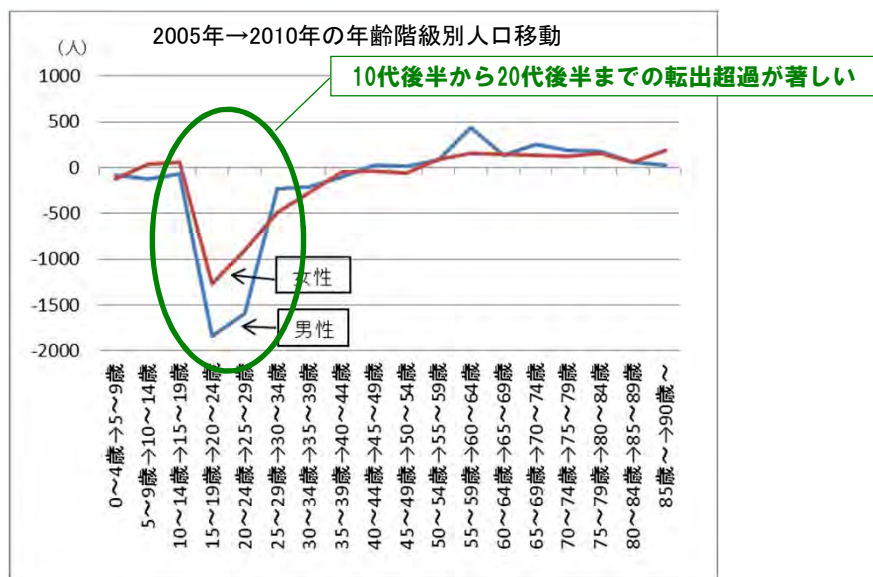


(出典) 秋田市人口ビジョン

5

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の人口の状況①

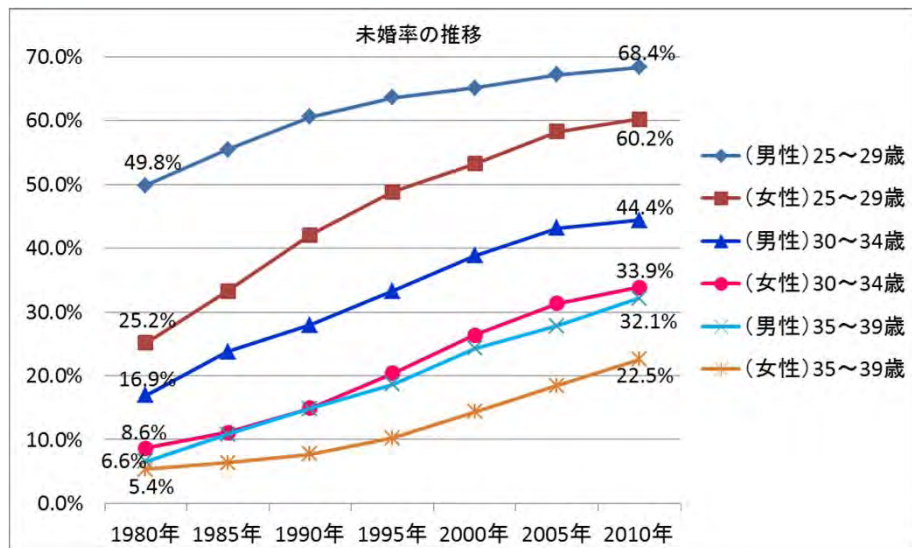


(出典) 秋田市人口ビジョン

6

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の人口の状況②

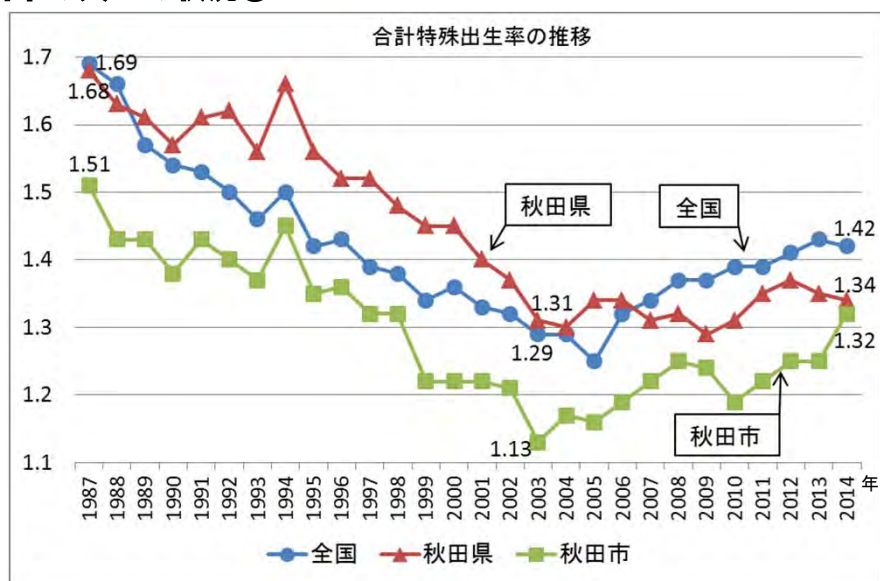


（出典）秋田市人口ビジョン

7

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の人口の状況③



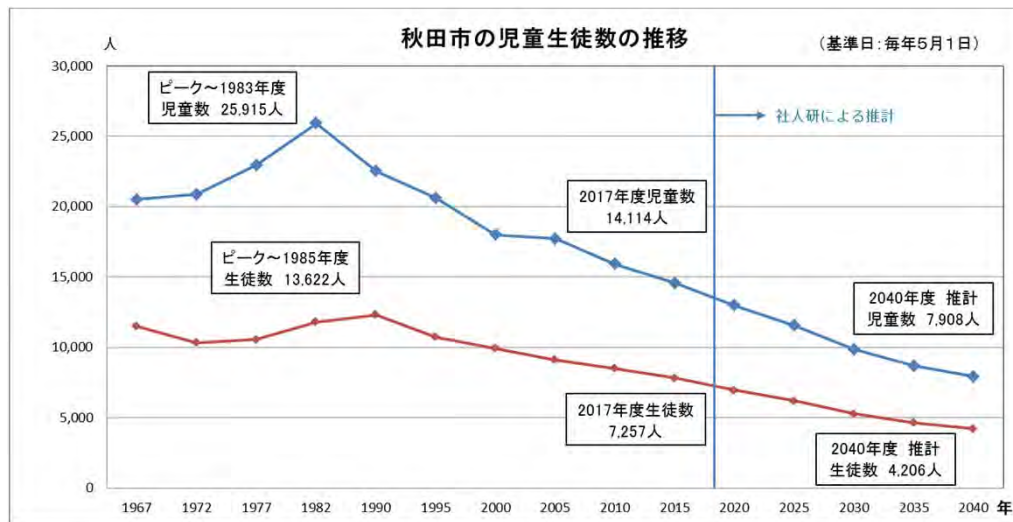
（出典）秋田市人口ビジョン

8

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の児童生徒数の推計①

小・中学校の児童生徒数も減少が続き、2040年は2010年と比べて半減となる見込み。



秋田市人口ビジョンのデータに基づき秋田市教育委員会で作成 9

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の児童生徒数の推計②

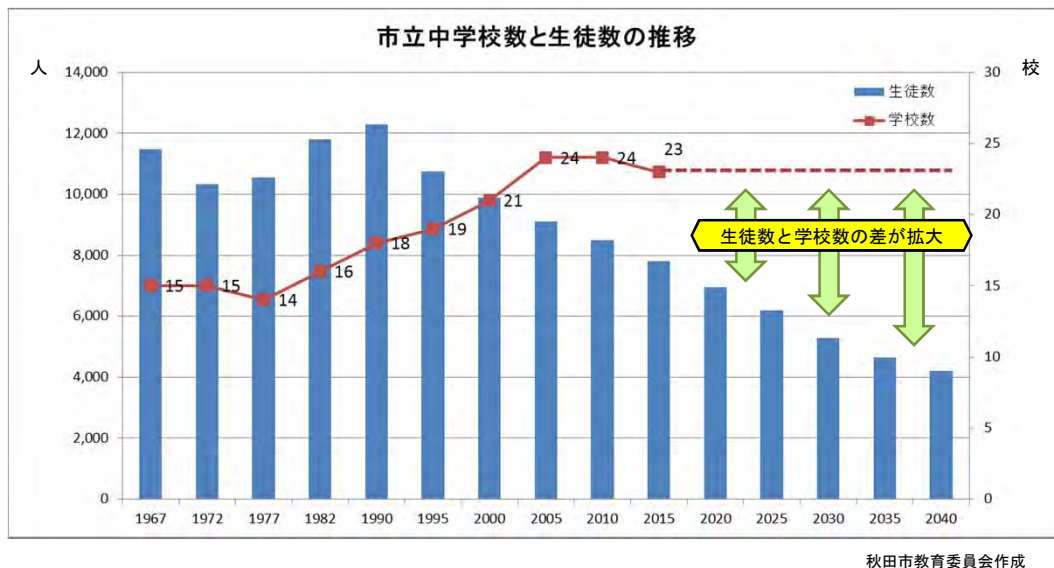


秋田市教育委員会作成

10

1 人口減少の実態（現状分析）

秋田市の児童生徒数の推計③



11

2 これまでの秋田市の取り組み

秋田市小・中学校の適正配置等についての提言書（2008年3月）

小学校の適正規模

複式学級…2つの学年を1つに編制した学級

○小学校においては、「1学年2～3学級、全校で12～18学級程度が望ましい。」



○現状では望ましい学級数を下回る学校が24校と数多くあり、学校設立の背景や地域事情等を踏まえ、「1学年1学級、全校で6学級の学校を適正規模の下限」と考える。

⇒「複式学級」を持つ全校で6学級未満の学校について検討を進める。

中学校の適正規模

○中学校においては、「1学年3～6学級、全校で9～18学級程度が望ましい。」



○学校設立の背景や地域事情等を踏まえ、クラス替えが可能な「1学年2学級、全校で6学級の学校を適正規模の下限」と考える。

⇒全校で6学級未満の学校について検討を進めるが、特に、集団での学習や活動において制約の多い「1学年で15名、全校で45名程度を下回る学校について、考慮が必要」である。

12

2 これまでの秋田市の取り組み

提言を受けての適正化への取り組み

○検討対象校の選定

- ・ 小学校－複式学級を持つ5校（山谷小、金足東小、赤平小、種平小、上新城小）
- ・ 中学校－上新城中

○統廃合の実施

- ・ 2010年4月1日－赤平小を河辺小に統合、金足東小を下新城小に統合
- ・ 2011年4月1日－上新城中を飯島中に統合
- ・ 2012年4月1日－山谷小を太平小に統合
- ・ 2016年4月1日－川添小、種平小、戸米川小、大正寺小を新設の雄和小に統合

13

2 これまでの秋田市の取り組み

小規模校のうち複式学級を持つ学校の課題

- 異学年の児童生徒が同じ教室で学習するため、一方の学年の児童生徒が教員から直接指導を受けている間、他方の学年の児童生徒は自習していることが多い。
- 話し合いの中で多様な意見を出し合うことや、学び合い、深め合うグループ活動が行いにくい。
- 一定の人数で行うことにより効果のある学校行事や音楽活動、団体スポーツなどが制限される。
- P T Aや保護者等の活動において、保護者1人あたりの役割分担が増える。

2008年3月 秋田市小・中学校の適正配置等について（提言書）より抜粋

⇒ 将来的にこのような状況の増加が予想される

14

3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引
～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～
(2015年1月 文部科学省)

(文部科学省手引の要旨)

- 学校規模の適正化の検討は、学校が義務教育を通じた社会の形成者としての基本的資質を養う場であることを踏まえ、教育の目標のより良い実現という視点から行うべき。
そのためには、一定規模の児童生徒集団の確保と教職員の適切な配置が望ましい。
- 法令上、学校規模の標準は小・中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされているが、12学級を下回る場合にどのような教育上の課題があるか、十分な検討が必要。
- 現時点で12学級～18学級の標準的な規模である学校も、今後10年以上の児童生徒数の動向等を踏まえ、教育条件の悪化や課題の発生に備え、地域の将来像を全体的に構想する中で、時間的な余裕を持って学校統合の適否の検討を始めることが有用。

15

3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言

秋田市小・中学校適正配置検討委員会の設置(2015年度)

設置目的

児童生徒数の減少に伴い、教育環境、学校運営等に関する諸問題を調査し、「学校規模および配置の適正化に関する基本的な考え方」ならびに「その適正化に向けた具体的な方策」について検討し、提言するため、2015年度に設置

構成メンバー

- | | | |
|--------|----|-------|
| ・学識経験者 | 1名 | |
| ・地域関係者 | 1名 | |
| ・保護者代表 | 1名 | |
| ・学校関係者 | 2名 | |
| ・有識者 | 1名 | 合計 6名 |

16

3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言

秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言（2016年2月）

1 適正規模の考え方

【小学校】	1 学年	2～3 学級	全校	12～18 学級
【中学校】	1 学年	4～6 学級	全校	12～18 学級

- ・ 国の方針と同様の「12学級以上18学級以下」とすることが妥当である。
- ・ 小学校では、より良い人間関係の構築、集団活動の推進、切磋琢磨する機会の充実が図られるなどの理由から、1学年で2学級以上が望ましい。
- ・ 中学校では教員配置の観点から、1学年で4学級以上が望ましい。

17

3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言

2 適正配置（通学条件）の考え方

【小学校】	4 km以内をおおよその目安としつつ、交通手段を確保するなどして、通学時間はおおむね1時間以内
【中学校】	6 km以内をおおよその目安としつつ、交通手段を確保するなどして、通学時間はおおむね1時間以内

①通学距離

- ・ 児童生徒の通学実態や地域の実情を踏まえ、国の方針と同様の「小学校は4 km以内、中学校は6 km以内」をおおよその目安とする。

②通学時間

- ・ スクールバスなどの適切な交通手段が確保でき、遠距離通学などのデメリット解消を前提として「おおむね1時間以内」を一応の目安とする。

18

3 秋田市小・中学校の適正配置等に関する提言

3 統合等の基本的な方向性

- ・本市の人口減少施策を勘案しながら将来の児童生徒数を見据え、全市的な観点から望ましい学校配置の将来像を描く。
- ・地理的な条件等を踏まえ、やむを得ず小規模校として存続することもあり得ることを念頭に置いて検討。
- ・適正配置の検討にあたっては、学校関係者と地域住民の十分な理解を得ながら、各学校や地域を含めた課題を整理し、具体的な対応を検討。
- ・これまでの統廃合の手法に加え、学区の見直しなどを含めて総合的に検討。

19

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

秋田市小・中学校適正配置推進委員会の設置（2016年度）

設置目的

2015年度（2016年2月）の提言に基づき、全市的な観点から、学校規模および配置の適正化に向けた具体的な方策について検討し、報告するため、2016年度に設置

構成メンバー

- | | | |
|--------|----|-------|
| ・学識経験者 | 3名 | |
| ・地域関係者 | 1名 | |
| ・保護者代表 | 1名 | |
| ・学校関係者 | 2名 | |
| ・有識者 | 1名 | 合計 8名 |

20

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

望ましい学校配置の将来像を描く際の基本的考え方と視点

1 想定する年度について

2040年度を想定して検討を進めます。

- ▼ 本市の人口減少対策を勘案しながら、長期的な視点で将来の児童・生徒数を見据えて検討する必要があります。
- ▼ 秋田市人口ビジョンにおいて、本市の目指すべき将来人口を設定するにあたり、2040年を想定しています。

21

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

◇ 秋田市人口ビジョン

秋田市人口ビジョンは、本市の人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、目指すべき将来人口と人口減少に対する今後の取り組みの基本的視点を示したものです。

2016年3月に策定され、市の施策の企画立案における基礎的データや方向づけの指針として活用されています。

秋田市ホームページ

<http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/mn/senryaku/PDCA.htm>



22

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

2 学校の適正規模の基準について

学級数については、小・中学校ともに12から18学級を適正規模とする提言を踏まえつつ、望ましい学級数を18学級として検討を進めます。

- ▼ 小学校においては、1学年に3学級あると様々な集団が組みやすく、交流活動も実施しやすいこと、また、子ども同士の関係などからも望ましいと考えます。
- ▼ 中学校においては、教科ごとの教員確保や部活動の選択の幅を考えると、1学年に6学級程度あることが望ましいと考えます。
- ▼ 12学級を基準とした場合、その後の児童生徒数の減少により、短期間のうちに再び適正規模を満たさなくなる可能性があります。

23

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

○「望ましい学級数を18学級とする」とは…

- ・「望ましい学級数を18学級とする」というのは、学校には必ず18学級（＝小学校では各学年に3学級、中学校では各学年に6学級）ないといけないという意味ではありません。
- ・今後、児童生徒の良好な教育環境を確保するとの観点から、18学級あれば様々なメリットがあると考えられることから、これを今後の検討の出発点、基準として設定することとしたものです。
- ・学校配置案は、この考え方を基本として検討、作成したいと考えていますが、将来、実際に学校配置を検討していく際には、児童生徒の望ましい学習環境を第一に考えつつ、地理的要因や地域の実情なども総合的に勘案していくこととなります。

24

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

3 配置の考え方について

秋田市をいくつかのブロックに分けて、小学校区や地域の実情を
勘案しながら、中学校区から検討していきます。

- ▼ はじめに秋田市総合計画における7地域の区分（中央・東部・西部・南部・北部・河辺・雄和）を参考として、学校の配置や地域の状況を踏まえながら、適切なブロック分けについて検討していきます。
- ▼ 中学校区が小学校区より広域であること、また、一つの小学校から別々の中学校に分かれて進学する状況の解消が望ましいことから、中学校区から先に検討していきます。

25

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討



秋田市総合計画における7つの地域区分

26

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

4 市民からの意見聴取の方法について

2017年度は各市民サービスセンターで市民説明会を開催し、市民から意見聴取します。

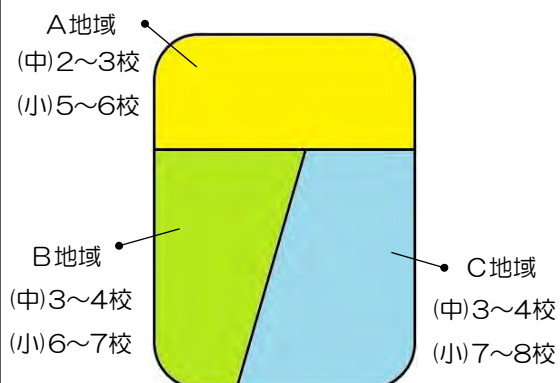
2018年度は、2017年度に作成した学校配置素案について、市民から意見を聴取し、学校配置の成案を作成していきます。

- ▼ 今後、全市的な観点から学校の適正配置について市民の意見を聴取するにあたっては、将来の児童生徒数の見込や適正配置検討の必要性、また、学校配置の将来像を検討する上での基本的な考え方を市民に示し、理解を得ながら進めていきます。

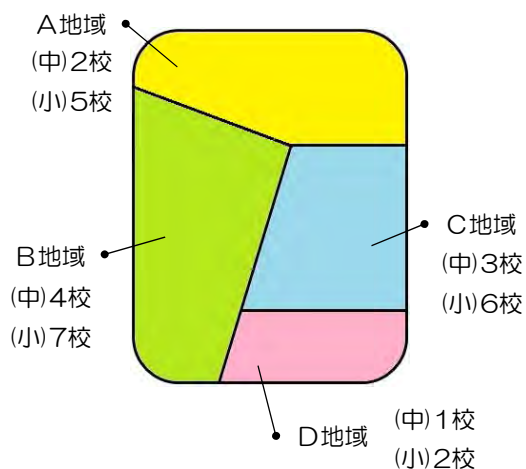
27

4 秋田市小・中学校適正配置推進委員会の検討

学校配置素案（2018年6月公表予定）



学校配置案（2019年3月公表予定）



※この地域区分と学校数は仮定のものです。

28

5 児童生徒数と学級数の推計

秋田市教育委員会作成

小学校（将来推計人口ベース）

地域	2017 (H29)		2020 (H32)		2025 (H37)		2030 (H42)		2040 (H52)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
中央地域	3,144	117	2,892	105	2,572	96	2,197	81	1,764	69
東部地域	2,680	101	2,402	89	2,138	80	1,826	71	1,466	62
西部地域	1,660	69	1,560	65	1,393	58	1,184	52	954	40
南部地域	2,634	96	2,386	84	2,125	75	1,812	63	1,455	58
北部地域	3,482	131	3,215	121	2,861	109	2,445	93	1,961	84
河辺地域	324	18	313	19	280	18	236	16	190	13
雄和地域	190	7	195	7	174	6	148	6	118	6
合計	14,114	539	12,963	490	11,543	442	9,848	382	7,908	332

小学校（秋田市人口ビジョンベース）

△44.0%

地域	2017 (H29)		2020 (H32)		2025 (H37)		2030 (H42)		2040 (H52)	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
中央地域	3,144	117	2,892	105	2,792	99	2,686	99	2,907	106
東部地域	2,680	101	2,402	89	2,316	90	2,232	84	2,416	93
西部地域	1,660	69	1,560	65	1,504	67	1,451	64	1,572	69
南部地域	2,634	96	2,386	84	2,297	85	2,215	81	2,398	88
北部地域	3,482	131	3,215	121	3,097	119	2,987	115	3,233	124
河辺地域	324	18	313	19	298	18	290	18	314	19
雄和地域	190	7	195	7	188	6	182	6	196	7
合計	14,114	539	12,963	490	12,492	484	12,043	467	13,036	506

△7.6%

29

5 児童生徒数と学級数の推計

秋田市教育委員会作成

中学校（将来推計人口ベース）

地域	2017 (H29)		2020 (H32)		2025 (H37)		2030 (H42)		2040 (H52)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
中央地域	1,600	54	1,519	52	1,352	48	1,155	42	921	34
東部地域	1,500	55	1,366	51	1,218	49	1,041	41	829	33
西部地域	893	34	843	34	749	33	640	27	510	21
南部地域	1,370	46	1,342	47	1,197	43	1,021	36	813	29
北部地域	1,640	58	1,608	58	1,434	50	1,226	43	976	34
河辺地域	151	8	147	7	133	7	112	7	90	6
雄和地域	103	3	112	4	100	3	84	3	67	3
合計	7,257	258	6,937	253	6,183	233	5,279	199	4,206	160

中学校（秋田市人口ビジョンベース）

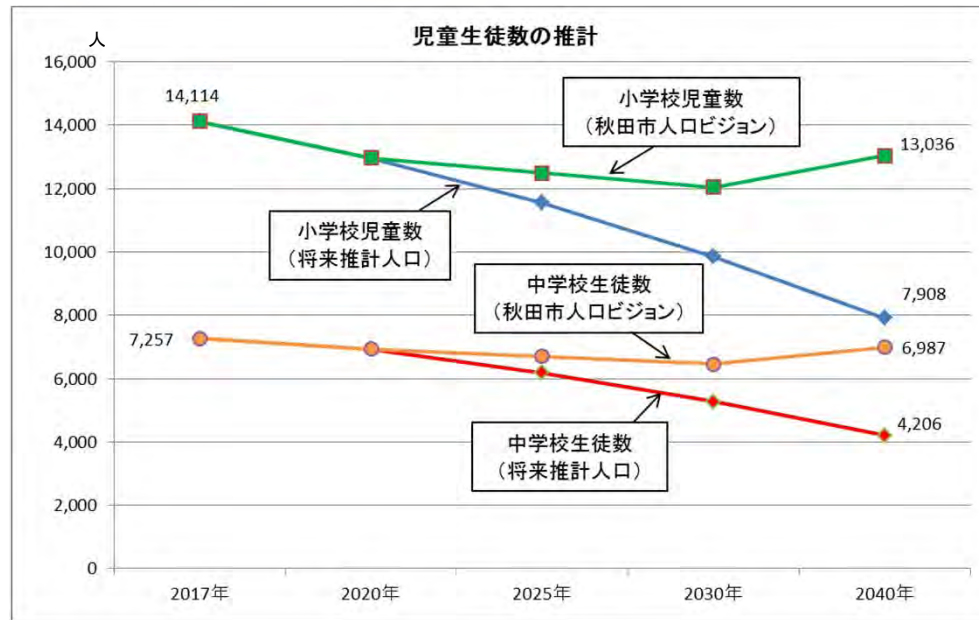
△42.0%

地域	2017 (H29)		2020 (H32)		2025 (H37)		2030 (H42)		2040 (H52)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
中央地域	1,600	54	1,519	52	1,465	51	1,411	49	1,529	52
東部地域	1,500	55	1,366	51	1,320	50	1,272	49	1,376	51
西部地域	893	34	843	34	811	34	781	33	848	34
南部地域	1,370	46	1,342	47	1,295	46	1,249	44	1,351	47
北部地域	1,640	58	1,608	58	1,552	57	1,496	56	1,620	58
河辺地域	151	8	147	7	143	7	139	7	151	7
雄和地域	103	3	112	4	108	4	104	4	112	4
合計	7,257	258	6,937	253	6,694	249	6,452	242	6,987	253

△3.7%

30

5 児童生徒数と学級数の推計



31

5 児童生徒数と学級数の推計

〔参考〕クラス替えできない学校（小学校6学級、中学校3学級以下）の割合

区分	2017年度	2025年度（推計）	2040年度（推計）
小学校	10校/41校（24.4%）	14校/41校（34.1%）	23校/41校（56.1%）
中学校	6校/23校（26.1%）	6校/23校（26.1%）	7校/23校（30.4%）

※社人研の将来推計人口による。

- ・ 2017年（現在）
 - ・ 2040年（将来推計人口）
 - ・ 2040年（目指すべき将来人口）
- ごとの学校別児童生徒数、学級数は

このあとの **参 考 資 料** をご参照ください。

秋田市教育委員会作成

32

6 今後のスケジュール

今後の検討スケジュール（予定）

2017年7月～8月	市民説明会の開催（各市民サービスセンター）
2018年6月	学校配置素案の公表
7月～8月	学校配置素案に対する市民意見聴取
2019年3月	学校配置案の公表

意見募集の方法

○ 学校適正配置へのご意見は、次の方法でお寄せください。

- ①教育委員会、各市民サービスセンターに備えてあるご意見提出箱に
意見提出用紙を投入
- ②意見提出用紙をFAXにて教育委員会学事課へ送付
（FAX番号：018-888-5804）
- ③電子メールにて教育委員会学事課メールボックスへ送付
（送付先メールアドレス：ro-edsw@city.akita.lg.jp）

《みなさまのご意見をお待ちしています！》

33

〔事務局〕

秋田市教育委員会学事課

〒010-8506 秋田市山王一丁目1番1号

電話：018-888-5806 FAX：018-888-5804

E-mail：ro-edsw@city.akita.lg.jp

学事課ホームページ：

<http://www.city.akita.akita.jp/city/ed/sw/default.htm>

参 考 資 料

2040年度 児童生徒数および学級数の推計（小学校）

番号	学校名	住所	2017年度 (2017. 5. 1現在)		2040年度			
			児童数	学級数	将来推計人口		目指すべき将来人口	
					児童数	学級数	児童数	学級数
1	保戸野小学校	保戸野すわ町9番60号	257	10 (2)	138	6	228	8
2	明德小学校	千秋公園1番13号	233	11 (1)	149	6	244	11
3	築山小学校	檜山古川新町55番地の1	384	13 (2)	211	7	348	12
4	旭北小学校	山王三丁目1番35号	273	12 (1)	164	6	271	10
5	中通小学校	中通五丁目8番22号	219	7 (3)	126	6	207	7
6	旭南小学校	旭南一丁目15番1号	343	12 (2)	184	6	304	12
7	牛島小学校	牛島東六丁目6番1号	406	14 (4)	246	10	406	15
8	川尻小学校	川尻みよし町8番31号	534	19 (2)	293	12	483	17
9	旭川小学校	手形字才の浜63番地	536	20 (2)	300	12	492	18
10	土崎小学校	土崎港中央三丁目1番78号	223	8 (1)	122	6	201	8
11	港北小学校	土崎港北四丁目6番1号	601	22 (3)	338	12	555	20
12	土崎南小学校	土崎港東一丁目6番39号	280	11 (1)	137	6	226	9
13	高清水小学校	将軍野南一丁目2番16号	279	12 (2)	169	6	279	12
14	広面小学校	広面字蟹沢29番地	558	20 (3)	306	12	505	19
15	日新小学校	新屋栗田町24番1号	845	30 (3)	478	18	791	30
16	勝平小学校	新屋松美ガ丘北町14番1号	660	24 (2)	374	12	616	23
17	太平小学校	太平目長崎字上目長崎144番地	33	4 (0)	25	3	41	4
18	外旭川小学校	外旭川字梶ノ目262番地2	533	19 (2)	310	12	509	18
19	飯島小学校	飯島鼠田二丁目2番1号	493	18 (0)	271	12	450	15
20	下新城小学校	下新城笠岡字佐戸反10番地	142	6 (1)	74	6	123	6
21	上新城小学校	上新城五十丁字大村屋敷22番地	21	4 (0)	11	3	17	4
22	浜田小学校	浜田字自在山47番地の2	61	6 (1)	41	4	67	6
23	豊岩小学校	豊岩豊巻字内縄尻90番地	47	4 (1)	29	3	47	5
24	仁井田小学校	仁井田本町四丁目7番1号	560	20 (5)	326	12	535	19
25	四ツ小屋小学校	四ツ小屋字街道東256番地の1	270	11 (3)	145	6	239	10
26	上北手小学校	上北手猿田字館の下38番地	203	8 (2)	87	6	144	6
27	下北手小学校	下北手松崎字谷崎202番地の1	99	6 (1)	64	6	106	6
28	下浜小学校	下浜羽川字水垂92番地	47	5 (1)	32	3	51	5
29	金足西小学校	金足大清水字大清水台1番地	176	6 (1)	94	6	157	6
30	八橋小学校	八橋大沼町7番1号	416	14 (2)	227	8	374	13
31	東小学校	東通二丁目11番1号	486	17 (1)	251	11	415	15
32	泉小学校	泉中央六丁目2番1号	485	18 (3)	272	12	448	16
33	大住小学校	仁井田字西潟敷33番地	560	20 (2)	319	12	528	18
34	桜小学校	桜四丁目12番1号	968	34 (3)	520	18	857	31
35	飯島南小学校	飯島西袋一丁目1番2号	397	13 (3)	239	9	394	14
36	寺内小学校	寺内堂ノ沢二丁目14番1号	337	12 (1)	196	6	322	12
37	御所野小学校	御所野元町五丁目1番1号	635	23 (0)	332	12	546	20
38	岩見三内小学校	河辺三内字外川原39番地	54	5 (3)	35	3	57	6
39	河辺小学校	河辺和田字岡村164番地1	195	7 (2)	114	6	190	7
40	戸島小学校	河辺戸島字本町123番地	75	6 (1)	41	4	67	6
41	雄和小学校	雄和石田字蟹沢40番地	190	7 (1)	118	6	196	7
			14, 114	538 (74)	7, 908	332	13, 036	506

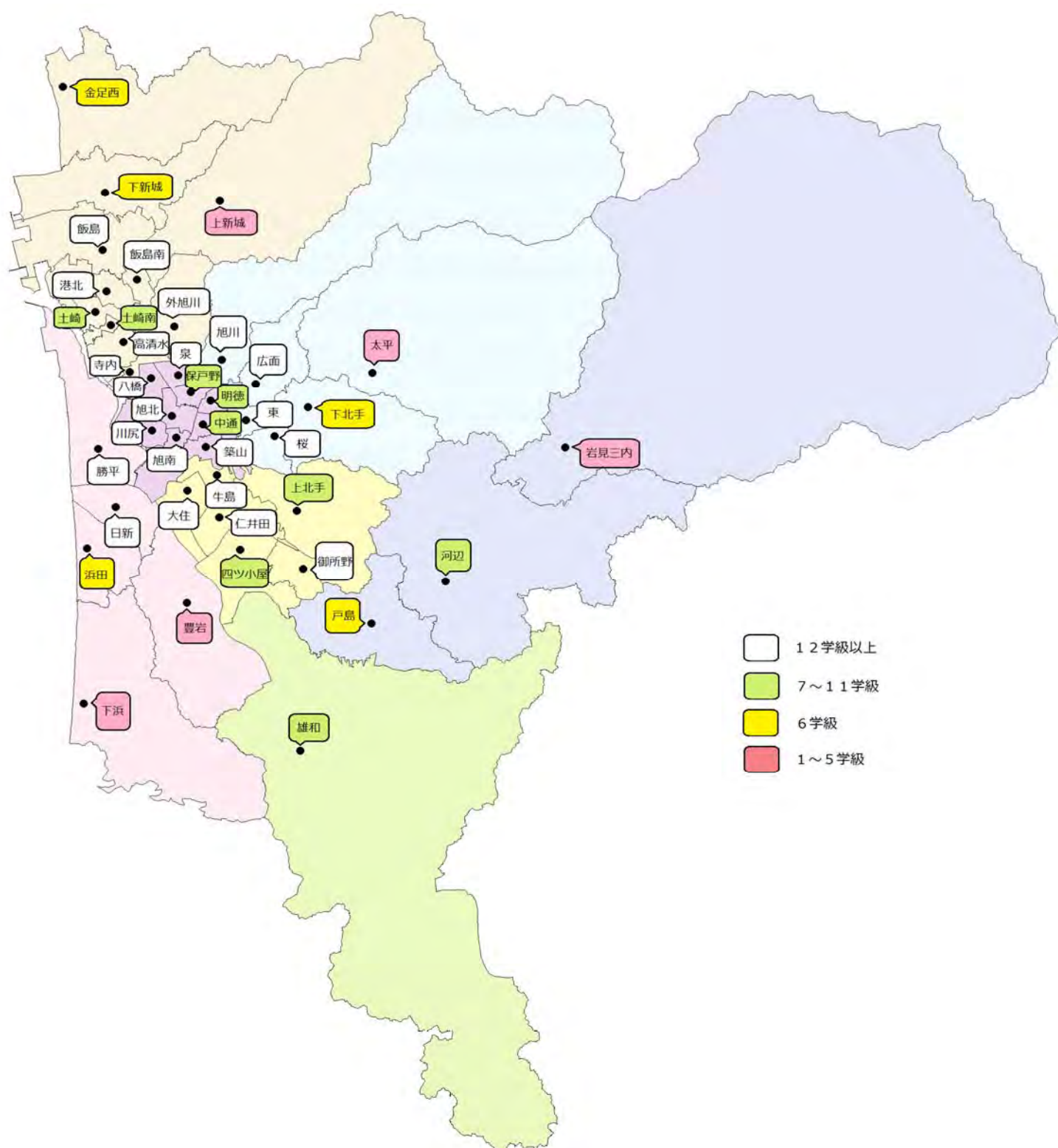
※()は特別支援学級等。左記の学級数には含まれない。

2040年度 児童生徒数および学級数の推計（中学校）

番号	学校名	住所	2017年度 (2017. 5. 1現在)		2040年度			
			生徒数	学級数	将来推計人口		目指すべき将来人口	
					生徒数	学級数	生徒数	学級数
1	秋田東中学校	手形休下町10番51号	460	16 (0)	252	9	416	15
2	秋田南中学校	南通宮田15番1号	398	14 (1)	228	8	378	14
3	山王中学校	山王三丁目1番24号	536	18 (2)	315	12	525	18
4	土崎中学校	土崎港北一丁目3番1号	425	15 (2)	249	9	413	15
5	秋田西中学校	新屋大川町19番75号	474	15 (2)	268	9	444	15
6	太平中学校	太平中関字平形46番地	33	3 (0)	23	3	38	3
7	外旭川中学校	外旭川字梶ノ目50番地	271	9 (0)	158	6	261	9
8	秋田北中学校	下新城野字街道端西241番地の90	255	10 (0)	150	6	249	9
9	豊岩中学校	豊岩豊巻字内縄尻90番地	29	3 (2)	13	2	23	3
10	城南中学校	檜山城南町4番1号	572	19 (1)	342	13	570	19
11	下北手中学校	下北手松崎字走り崎14番地	49	3 (0)	28	3	49	3
12	下浜中学校	下浜羽川字水垂92番地	34	3 (0)	18	3	31	3
13	城東中学校	広面字鍋沼17番地	505	17 (3)	279	9	464	15
14	泉中学校	泉北二丁目6番1号	666	22 (1)	378	14	626	20
15	将軍野中学校	将軍野南一丁目12番1号	322	11 (2)	194	6	322	12
16	御野場中学校	仁井田字中新田223番地	567	19 (3)	271	10	492	17
17	勝平中学校	新屋北浜町13番1号	356	13 (5)	211	7	350	13
18	飯島中学校	飯島字田尻堰越48番地	367	13 (2)	225	7	375	13
19	桜中学校	桜台一丁目1番1号	453	16 (1)	247	9	409	15
20	御所野学院中学校	御所野地蔵田四丁目1番1号	231	8 (1)	200	6	289	11
21	岩見三内中学校	河辺三内字外川原39番地	26	3 (0)	17	3	28	3
22	河辺中学校	河辺北野田高屋字雷谷地84番地	125	5 (2)	73	3	123	4
23	雄和中学校	雄和石田字蟹沢40番地	103	3 (1)	67	3	112	4
			7, 257	258 (31)	4, 206	160	6, 987	253

※()は特別支援学級等。左記の学級数には含まれない。

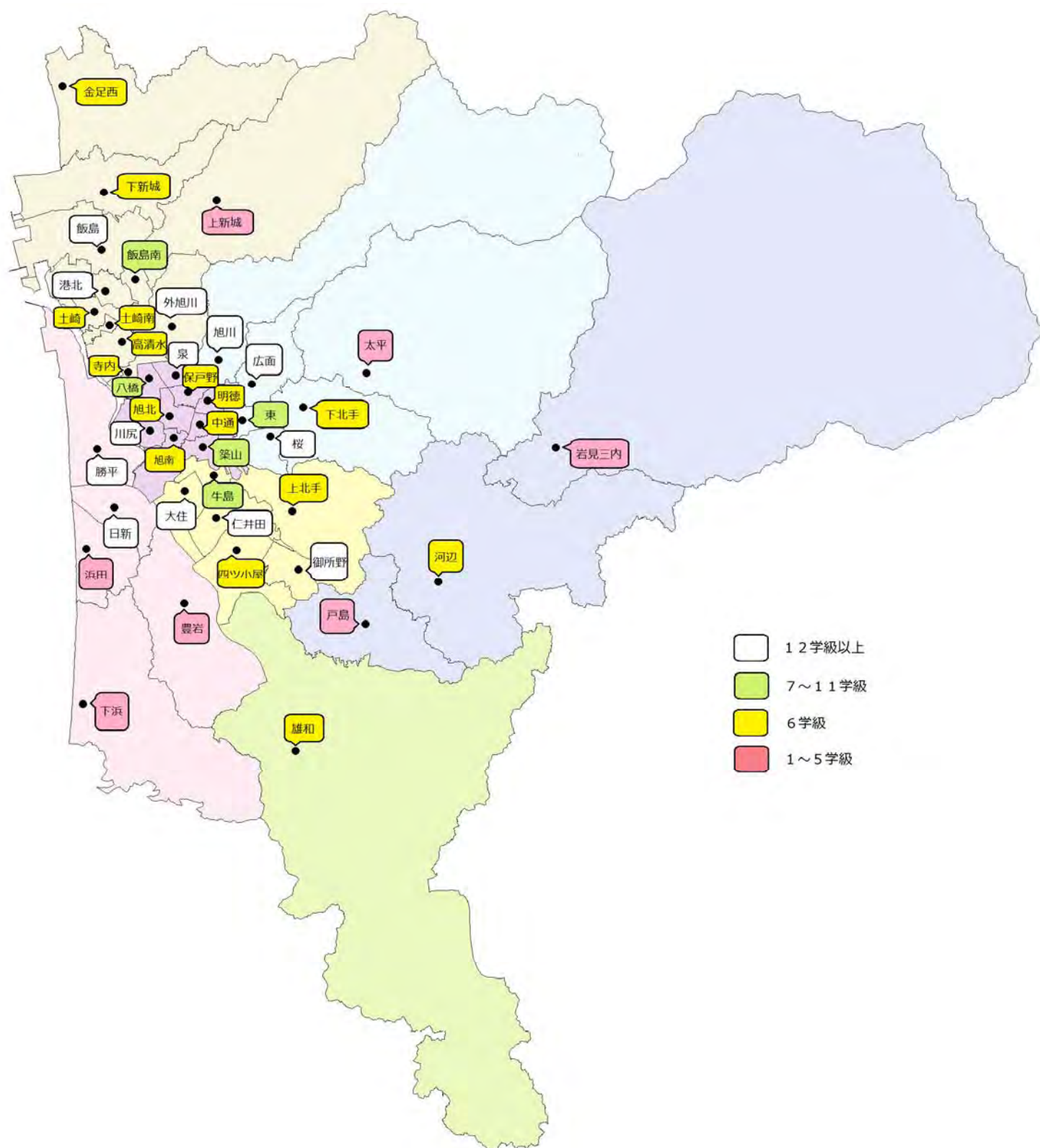
秋田市の小学校別学級数(2017年度)



- 12学級以上
- 7～11学級
- 6学級
- 1～5学級

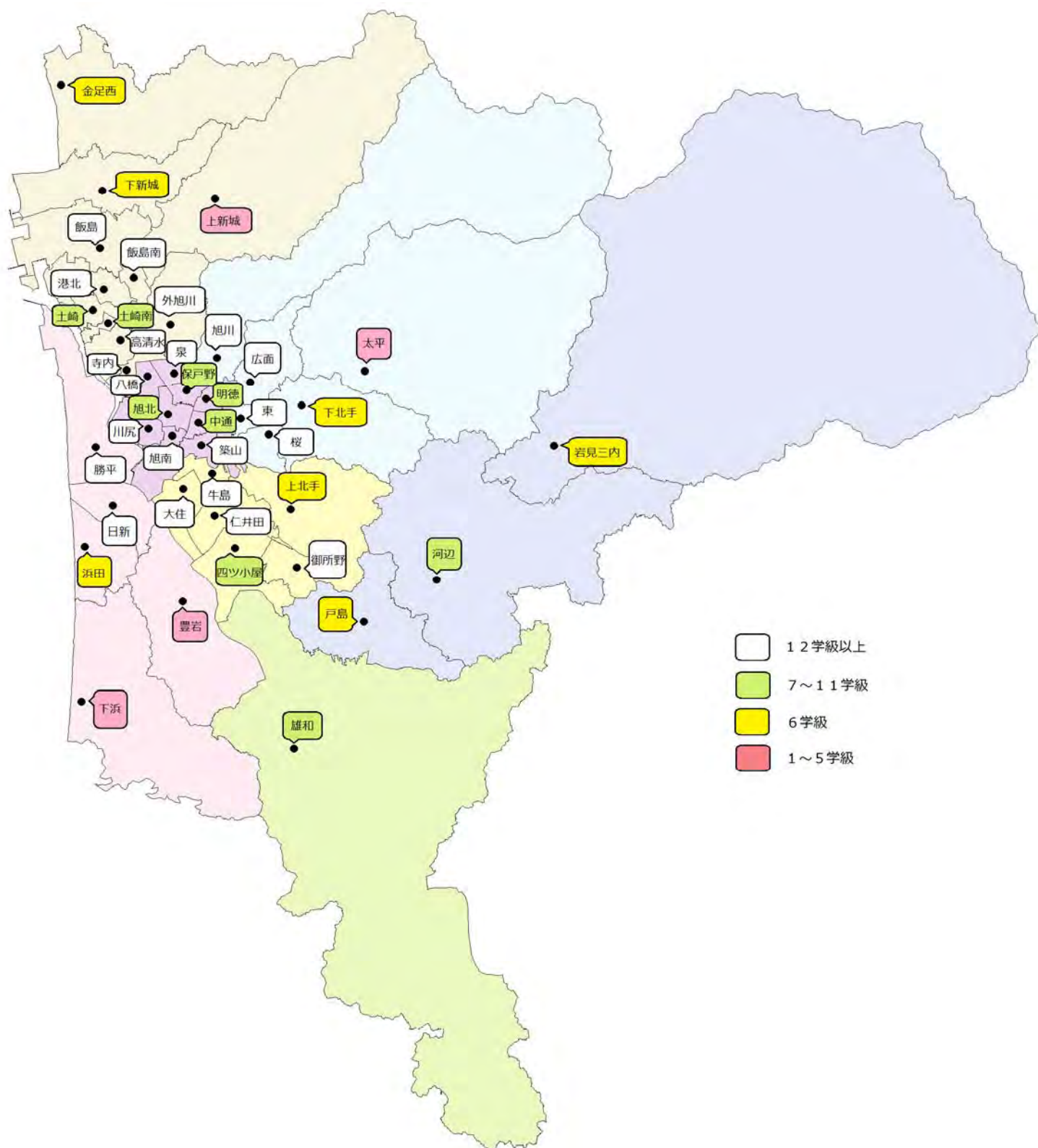
※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの

秋田市の小学校別学級数見込み(2040年将来推計人口)



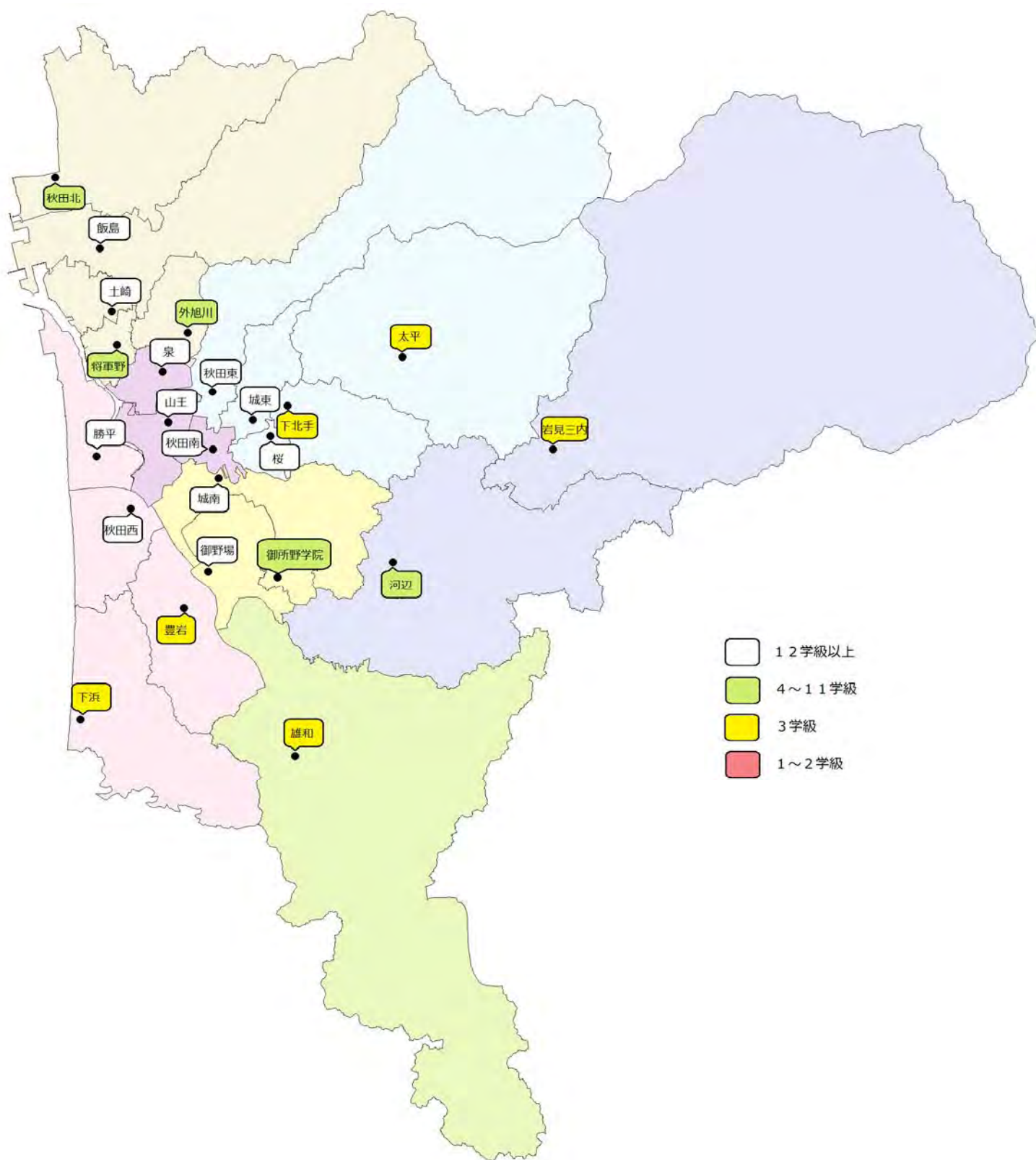
※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの

秋田市の小学校別学級数見込み(2040年目指すべき将来人口)



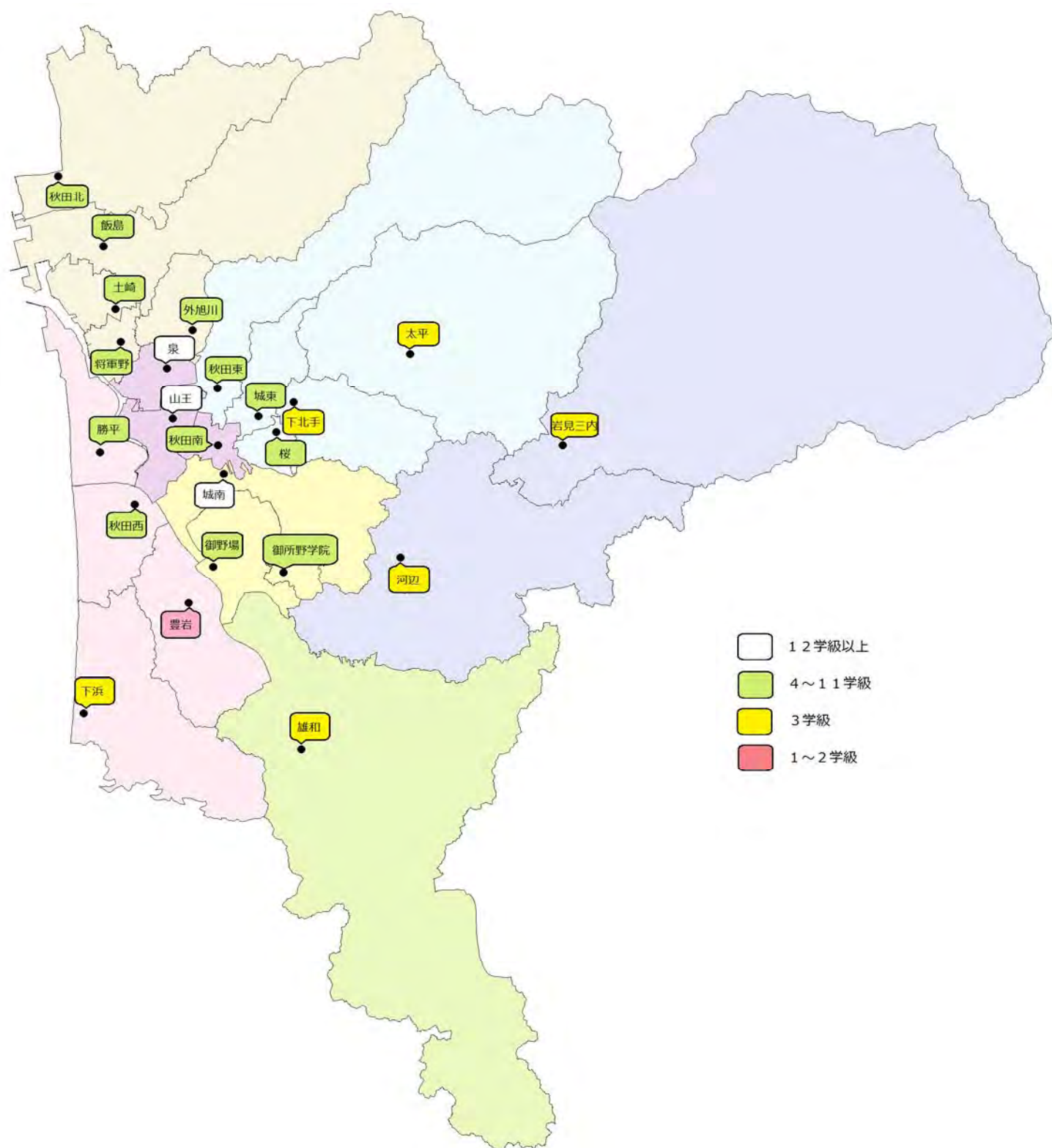
※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの

秋田市の中学校別学級数(2017年度)



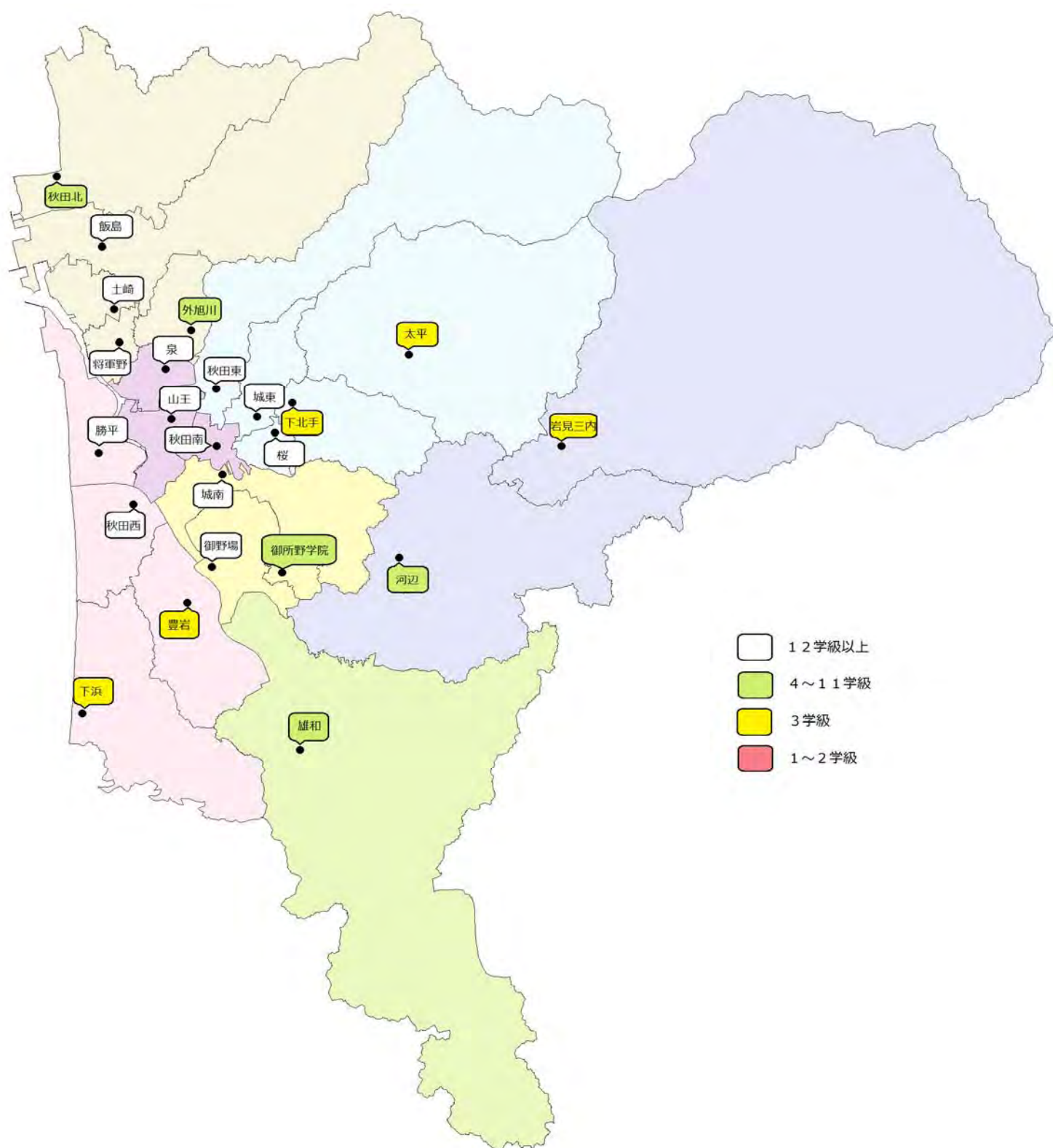
※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの

秋田市の中学校別学級数見込み(2040年将来推計人口)



※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの

秋田市の中学校別学級数見込み(2040年目指すべき将来人口)



※地域の色分けは、秋田市総合計画における7地域の区分を参考として学区単位で分けたもの